



生育状況等		
茨城	(水戸市) 5月1日に移植した「あきたこまち」の生育は平年より2日遅く、「コシヒカリ」は平年より4日進んでいる。平年より草丈は長い傾向、葉数は少なく、葉色はやや濃い。 5月9日に移植した「コシヒカリ」の生育は平年より3日進んでいる。平年に比べ草丈は極長い。葉数及び葉色は平年並(6月20日現在) (龍ヶ崎市) 4月28日に移植した「あきたこまち」、「コシヒカリ」の生育は5日早い。平年に比べ、両品種の草丈は極めて長く、葉数は、葉色は濃い。 5月7日に移植した「あきたこまち」の生育は5日早く、「コシヒカリ」は6日進んでいる。両品種の草丈は極めて長く、葉数は「あきたこまち」でやや少なく、「コシヒカリ」で並。葉色は両品種とも並。(6月18日現在) (県農業総合センター農業研究所)	・7月のいもち病の発生量は平年並～やや多く、発生は県下全域の予想 ・斑点米カメムシ類の発生時期はやや早く、発生量はやや多く県下全域の予想 (茨城県病害虫防除所 7月1日公表) ・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 ・ニカメイガの発生は、北関東の一部で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・ヒメトビウンカ第二世代幼虫の発生はやや早い状況。 (茨城県病害虫防除所 6月20日公表) ・6月のニカメイガの発生量はやや多い予想 (茨城県病害虫防除所 6月2日公表)
栃木	・平年より葉数が多く草丈も高い。 ・県内全域に高温・多湿傾向であったことから、葉色はほぼ平年並であるが、草丈、葉数ともに前回調査(5月26日)より平年との差が大きくなり、生育診断値(葉色×葉数)は平年を上回っている。葉齢から判断して、生育は2日程度進んでいると考えられる。(栃木県農政課 6月11日付)	・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 ・ニカメイガの発生は、北関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月末のイネ科雑草等早期取り調査結果では、アカスジカスミカメの発生が目立っている。(栃木県農業環境指導センター 7月1日公表) ・6月下旬～7月下旬のいもち病発生量：やや少ない、結実枯病(ヒメトビウンカ媒介)の発生量は県中南部地域で多い予想 (栃木県農業環境指導センター 6月20日公表)
埼玉	・強風による植え傷み等で分けつはやや少ないが、草丈は平年並、高温により葉色の進展は進んでいる。 5月上旬中に移植されたものは強風による植え傷みが見られるが、良気象により回復は早く、概ね順調な生育である。(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 6月1日現在)	・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・斑点米カメムシ類の発生は、斑点米の破格率が平年より多く、斑点米の発生が懸念。 (埼玉県病害虫防除所 6月30日公表) ・イネトムシの本年の孵化発見日は7月28日と予想。 (埼玉県病害虫防除所 6月18日公表)
千葉	全体的に生育の進みは早く、順調に生育している。幼穂形成期は早生・中生品種は4日程度、晩生品種は4～7日程度早くなった。幼穂形成期の草丈は並～やや高く、葉数はやや多めに推移している。 (千葉県農林水産部 7月2日付)	・イネ結実枯病の発生は、関東の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月のいもち病(粟いもち)、紋枯病の発生量は平年並、イネドクオームシの発生量はやや多、イネクロカメムシの発生量は平年並、ヒメトビウンカの発生量はやや多、セロウンカの発生量は平年並、コバネイナゴの発生量は平年並の予想 (千葉県農林総合研究センター 6月11日公表)
新潟	・コシヒカリ 県平均では指標値(理想的な生育めやす)に比べ、草丈は「並み」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。地域別には、草丈は上越で長く、葉色は新潟田、新潟、長岡、十日町で濃い状況。 こしいふき 生育は、指標値に比べ草丈は「並み」、葉数は「多い」、葉色は「やや濃い」状況。葉数の進みは「やや早い」状況。 (新潟県農林水産部 6月30日付) (新潟田) コシヒカリの生育は、3～4日程度進んでいることから、指標値と同様の葉数と比較すると、生育量は草丈は並、葉数は多く、葉色は急激に低下してきている。(新潟田農業改良普及センター 6月30日付) (新潟) 調査地の生育は、指標値に比べ、草丈：並、葉数：並、葉数：やや早い、葉色：濃い。コシヒカリの出穂期は平年より2日程早い見込み。(新潟県農業普及指導センター 6月30日現在) (三条) 草丈、葉令、葉色は指標値並。葉数はやや多の生育となっている。出穂期は「平年並み～1日程遅い」早まる見込み。 (三条農業普及指導センター 6月30日) (岩船) 草丈：ほぼ並葉数：並～多い葉数：やや早い葉色：やや濃い。早生品種は、幼穂が確認され始めている。 (新潟) 好天が続き、気温の日較差が大きく、日照時間も長かったことから、草丈の伸長は緩やかとなり、生育は全項目で目標値【並】。出穂期予想は、早生品種(こしいふき7月28日頃)、コシヒカリ(8月6日頃)ともに平年並みの予想。 (新潟農業普及指導センター 6月30日現在) (巻) 草丈：「並～やや遅」、葉数：「2～3日程度遅い」、葉数：「やや多」、葉色：「並～やや淡」。コシヒカリは、草丈「並～やや遅」、葉色「並～やや淡色」傾向。出穂期は、2日程早まる予想。(巻農業普及指導センター 6月30日現在) (長岡) 生育は、指標値に比べ草丈は並、葉数はやや多、葉数は多、葉色はやや濃い。高温・多日照の影響により生育ステージは早まっている。コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈99%、葉数113%、葉数+0.9、葉色-2.0(SPAD値)である。 (長岡農業普及指導センター 6月30日現在) (魚沼) 移植地の好天により、生育は順調に推移しており、出穂は平年並み～1日程早い見込み。 (JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 7月2日付) (南魚沼) コシヒカリの生育は、指標値に比べ草丈は「やや短」、葉数は「多」、葉数は「並」、葉色は「やや淡」 (南魚沼農業普及指導センター 6月30日現在) (十日町) 生育は、平年並の生育、高標高地とも遅くなる見込み。 平地部の草丈はやや短く、葉数と葉齢は並、葉色はやや濃い～淡い。台地、高標高地では、草丈は短く、葉数はやや多い、葉齢は並で、葉色はやや濃い。一部7月生育が遅れている場所がみられる。 (十日町農業普及指導センター他 6月30日付) (柏崎) こしいふきの生育は、草丈、葉数、葉色とも指標値並だが、葉数はやや多めで、コシヒカリの生育は、草丈は短く、葉数はやや多く、葉数、葉色は指標値並。(柏崎農業普及指導センター 6月30日現在) (上越) 草丈：長い(112%)、葉数：多い(126%)、葉数：多い(+0.7葉)、葉色：並(葉色値+0.9) (上越農業普及指導センター 6月30日現在) (糸魚川) 平年に比較すると、生育が早場により1日早い。(糸魚川農業普及指導センター 6月19日現在) (佐渡) コシヒカリの生育は平年並。草丈は並、葉数はやや多い、生育は並、葉色は並。(佐渡農業普及指導センター 6月30日現在)	・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月の粟いもち病(粟いもち)、紋枯病の発生量は平年並、初発時期としては平年並で、平年に比べて2日遅い(新潟県病害虫防除所 6月2日公表) ・6月の粟いもちの発生量は少ない予想(新潟県病害虫防除所 5月30日公表)
富山	(てんたく) 平年に比べて葉齢が進み、草丈はやや長く、葉数と葉色は平年並み、幼穂形成期は、平年より4日早い6月27日となった。出穂期は、平年より3日程度早い7月20日頃と見込まれる。 (コシヒカリ) 草丈と葉齢、葉色は平年並み、葉数はやや多くなっている。生育量(草丈×葉数×葉色÷1000)の平均値は、126と平年並みであるが、102から175とバラツキが大きくなっている。幼穂形成期は、平年より1日程遅い7月12日頃と見込まれる。 (てんこもり) 草丈と葉齢、葉色は平年並み、葉数はやや多くなっている。幼穂形成期は、平年並みの7月17日頃と見込まれる。 (富山県農業技術課 広域普及指導センター 7月1日現在)	・7月の紋枯病の発生はやや多く、斑点米カメムシ類は多い予想 ・イナゴ類がやや多い予想(富山県農林水産総合技術センター 7月1日公表) ・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・水田内及び畦畔における斑点米カメムシ類の生息数が多く、斑点米被害の増加が懸念される(富山県農林水産総合技術センター 6月26日付) ・6月のいもち病(粟いもち)の発生量は平年並～やや少ない、紋枯病の発生量はやや多い、斑点米カメムシ類の発生量は多い予想 (富山県農林水産総合技術センター 6月2日公表)
石川	・出穂期は、ゆめみづほが近年より3～6日早い7月14～20日頃と予想される。 葉齢は、コシヒカリが2日程度早い。加賀地域の生育の早い圃場で幼穂が確認された。 ・草丈は、コシヒカリが平年比で102%、ゆめみづほが近年比で104%。 ・葉数は、コシヒカリが平年比で95%、ゆめみづほが近年比で92%。 ・葉色は、コシヒカリは低下傾向で平年並みだが、一部で濃い圃場が見られる。 (農林総合研究センター 6月27日調査)	・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・7月上旬のいもち病、紋枯病と斑点米カメムシ類の発生量はやや多い予想。 (石川県農林総合研究センター 6月26日付)
福井	・コシヒカリは平年より遅く最高分け時期を迎えて始めている。草丈は平年より短いが、葉数は平年を上回っており特に直穂は葉数過剰となっている。 ・ハナチチセの草丈は平年よりやや短く、葉数は一部を除き平年並みに回復している。25日頃から幼穂形成期を迎えている。 (水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月3日現在)	・ニカメイガの発生は、北陸の一部地域で「多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月の粟いもち病の発生量は平年より少、紋枯病は平年並、ニカメイガは平年より多、イネミスゾウムシ、イネゾウムシ、イネドクオームシとイネヒメモグリハエは平年より少の予想(福井県農業試験場 5月29日公表)
長野	・豊科では草丈は平年より長く、葉数は多い傾向。最高分け時期で、畝間の見えなような葉数過剰の圃場も見られる。生育は、平年より2～3日早いと推定している。 ・豊科のあきたこまちは、7月4日に幼穂形成期に入り、平年より3日早く、昨年より2日遅い。葉山線は7月6～7日頃と思われる。 ・向こう1ヶ月の気温は平年並み～高いと予想されており、早生種の出穂は平年より早まる事が予想される。 (松本県農業改良普及センター 7月1日現在)	・5月下旬のイネミスゾウムシの被害度及び寄生虫数は平年より少なかった。また佐久地区の一部でイネドクオームシの成虫を確認 (長野県病害虫防除所 6月2日付) ・気温の上昇とともに葉齢・表層剥離の発生が徐々に目立つ (松本県農業改良普及センター 6月26日付)
滋賀	・生育はかなり旺盛で、平年よりやや早い。ただし、気温の変動が大きく、生育の遅延は日々変化している状況。 ・草丈は、「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年より長い。 ・葉数は「コシヒカリ」が平年より多く、「秋の詩」は平年よりかなり多い。 ・葉色は「コシヒカリ」、「秋の詩」とも平年並。 ・葉数は、「コシヒカリ」は8枚、「秋の詩」は6枚程度生育が早いと見られる。 「コシヒカリ」については、平年より5日程度生育が早いと見られる。 (滋賀県農業技術振興センター 6月20日現在)	・イネ結実枯病とイネミスゾウムシの発生は、近畿の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・粟いもちと紋枯病の発生量は平年並み、イネクロカメムシの発生量は少、コバネイナゴの発生量はやや少の予想 (滋賀県病害虫防除所 6月17日公表) ・粟いもちの発生量はやや少、ニカメイガの発生量は平年並、イネドクオームシ、イネクロカメムシの発生量はやや少、コバネイナゴの発生量は平年並みの予想 (滋賀県病害虫防除所 6月3日公表)
兵庫	(県北) 葉齢、葉数ともに平年を上回っている。特に葉数はかなり多くなっている。 (県南) 葉齢は平年を上回っている。葉数は平年並み～やや少ない。 (兵庫県環境政策課 7月3日付)	・イネ結実枯病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・結実枯病の発生が近年増加傾向。西播磨地域ではヒメトビウンカ(保毒虫)の保有率が高い(兵庫県病害虫防除所 7月1日公表) ・向こう1か月は、いもち病(粟いもち病)、結実枯病、ヒメトビウンカはやや多、海外農業技術センターは平年並の予想。 (兵庫県病害虫防除所 6月18日公表)
岡山	・イネ結実枯病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日) ・6月の粟いもちの発生量はやや少、ヒメトビウンカ発生量は少、結実枯病の発生量は平年並、ツマグロヨコバイの発生量は少、ニカメイガの発生量は平年並の予想 (岡山県 6月5日公表)	・イネ結実枯病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・県内の一部地域で置き苗に粟いもちの発生が確認されている。いもち病が発生しやすい気候となっている。県南と県西部において、いもち病感染好適日が過去10年間で最も高い頻度で出現(広島県西部農業技術指導所 6月27日公表)
広島	・イネ結実枯病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・県内の一部地域で置き苗に粟いもちの発生が確認されている。いもち病が発生しやすい気候となっている。県南と県西部において、いもち病感染好適日が過去10年間で最も高い頻度で出現(広島県西部農業技術指導所 6月27日公表)	・イネ結実枯病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月の結実枯病(ヒメトビウンカ)の発生量は平年並の予想 (山口県病害虫防除所 6月2日公表) ・5月のイネミスゾウムシの発生量は平年並の予想 (山口県病害虫防除所 5月1日公表)
山口	6月の降水量及び日照時間は平年より少ない状況で、気温は平年並みに推移した。 ・コシヒカリ、ひとめぼれの生育は、5月中旬移植の葉数は多いが、草丈と葉齢は概ね平年並み ・きぬむすめは、草丈が短く、葉数は平年並み ・コシヒカリの生育は、草丈が短く、葉数は少なく、葉齢はやや遅い (JA山門大津、長門農林事務所 7月1日現在)	・イネ結実枯病の発生は、中国の一部地域で「やや多い」と予想 (農林水産省 6月19日公表) ・6月の結実枯病(ヒメトビウンカ)の発生量は平年並の予想 (山口県病害虫防除所 6月2日公表) ・5月のイネミスゾウムシの発生量は平年並の予想 (山口県病害虫防除所 5月1日公表)

生育状況等	
愛 媛	<p>(生育)</p> <p>・早期栽培のあきたこまちは6月下旬、コンヒカリは7月上旬、短期栽培のあきたこまちは7月中下旬頃が穂肥時期となる。穂肥の施用時期は、幼穂長の観察による生育診断等の過期予測が重要。 (愛媛県農林水産部/農林水産研究所 7月4日公表)</p>
高 知	<p>(生育)</p> <p>(南国そだち 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は平年よりやや高く、茎数はほぼ平年並、葉齢(生育進度)は平年よりやや早い。 (早植えコンヒカリ 4月4日移植) 5月30日調査時の草丈は平年並み、茎数は少なく、葉齢もわずかに遅れている。茎数が少ないのは、移植直後4月上旬および5月上旬の低温の影響によるもの。 (標準植えコンヒカリ 4月14日移植) 低温の影響で一時的に生育は遅れていたが、その後回復し6月3日調査時の草丈は平年より高く、茎数、葉齢は平年並みに推移。 (高知県農業技術センター 6月20日付)</p>
福 岡	<p>朝倉普及指導センター管内(朝倉市、筑前町、東峰村)では5月1日~2日を中心に早期栽培つづくしの田植えを終了。収穫は8月の盆明けの見込(福岡県朝倉普及指導センター 5月12日付)</p>
熊 本	<p>(生育)</p> <p>・7月の発生量予報 (早播水稲) 穂いもち病、カメムシ類はやや少 (早播水稲) 穂いもち病は平年並 (普通水稲) 穂いもち病は平年並 (早播普通水稲) セジロウカはやや少 (熊本県病害虫防除所 5月27日公表)</p>
宮 崎	<p>現在の生育状況は、草丈が平年よりやや短く、茎数は平年並み、葉齢は平年並みで、生育進度は平年並みで順調に生育している。現在、幼穂形成期~穂ばらみ期を越えている。出穂期は早いところで6月23日頃、遅いところで7月上旬頃とほぼ平年並みの進度で生育している。</p> <p>早播水稲 6月15日現在の生育ステージ (県全体) 幼穂形成期~穂ばらみ期で平年並みの進度。草丈はやや低く、茎数は平年並みと生育は概ね良好であり、順調に生育している。 (中部地区) 幼穂形成期~穂ばらみ期で平年並みの進度。草丈は平年より6cm程短く、茎数・葉齢は平年並み。出穂最盛期は6月27日頃と見込まれる。 (南部地区) 穂ばらみ期で平年より3日早い進度。生育は順調で予想出穂期は6月23日頃と見込まれる。 (児湯地区) 幼穂形成期で平年並みの進度。6月上旬から穂肥の施用が行われ、薄かった葉色が回復し、分けつもよく、生育は順調。 (東臼杵地区) 幼穂形成期で平年より2日遅い進度。生育は良好であり、平年より草丈は低く、茎数は平年並み。幼穂長は平均0.9cmとなっており、7月上旬出穂であると思われる。 (J宮崎経済連ホームページ 6月15日現在)</p>
鹿 児 島	<p>(生育)</p> <p>・6月の発生量予報 (早播水稲) 穂いもち病、カメムシ類はやや少 (早播水稲) 穂いもち病は平年並 (普通水稲) 穂いもち病は平年並 (早播普通水稲) セジロウカはやや少 (鹿児島県病害虫防除所 5月29日公表)</p>

道府県	備考 気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	参考 生産数量目標			収穫量(主食用) 25年産	作況指数 25年産
		平成26年産	前年産との比較	増減率		
		t	t	%		
全 国	(7～9月の3か月間の見通し) ・偏西風は、8月までは平年の位置で強く、前線や低気圧の活動が活発となる見込みで、降水量は北日本で平年並が多い見込み。 7月の東・西日本では、降水量が平年並か多く、8月の西日本では、平年並か多い見込み。 8月は、太平洋高気圧の日本付近への張り出しが弱く西日本では、気温が平年並か低い見込み。 ・夏にはエルニーニョ現象が発生する可能性が大きいことと、フィリピン付近の対流活動が活発なことが考慮された予報となっている。 (気象庁 6月25日発表) ・夏には5年ぶりにエルニーニョ現象が発生し、秋にかけて続く可能性が高い。(気象庁 6月10日発表)					
北 海 道	・北海道地方の7月5日～8月4日の1か月間は、気温は高い見込みで、期間の前半は平均気温がかなり高くなる可能性があり、後半にはほぼ平年並みになる見込み。 太平洋側では、期間の前半は曇りや雨の日が多いため、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 日本海側やオホーツク海側では、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 (札幌管区気象台 7月3日発表) ・北海道地方では、7月5日頃からの一週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれる。 (札幌管区気象台 6月30日発表)	554,140	▲ 18,800	▲ 3.3	601,300	105
青 森	・東北地方の7月5日～8月4日の1か月間は、気温は高く、期間の前半は平均気温がかなり高くなり、後半にはほぼ平年並みになる見込み。 太平洋側では平年に比べ曇りや雨の日が多くなり、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 日本海側では、降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 (仙台管区気象台 7月3日発表)	247,000	▲ 12,220	▲ 4.7	272,100	104
岩 手	同上（仙台管区気象台 7月3日発表）	275,540	▲ 10,810	▲ 3.8	287,800	102
宮 城	同上（仙台管区気象台 7月3日発表）	362,630	▲ 18,140	▲ 4.8	388,600	104
秋 田	同上（仙台管区気象台 7月3日発表）	433,040	▲ 13,390	▲ 3.0	450,200	100
山 形	同上（仙台管区気象台 7月3日発表）	358,570	▲ 15,630	▲ 4.2	386,100	102
福 島	同上（仙台管区気象台 7月3日発表）	348,420	▲ 7,440	▲ 2.1	368,600	104
茨 城	・関東甲信地方の7月5日～8月4日の1か月間は、気温は平年並みか高い見込み。期間の前半に平年より高くなり、後半にはほぼ平年並みになる見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁 7月3日発表)	341,550	▲ 7,340	▲ 2.1	398,900	104
栃 木	同上（気象庁 7月3日発表）	309,330	▲ 12,220	▲ 3.8	334,900	102
埼 玉	同上（気象庁 7月3日発表）	152,680	▲ 3,920	▲ 2.5	165,900	98
千 葉	同上（気象庁 7月3日発表）	249,280	▲ 6,420	▲ 2.5	329,100	104
新 潟	・北陸地方の7月5日～8月4日の1か月間は、気温は高く、期間の前半は南からの暖かい空気の影で平均気温がかなり高くなる可能性があり、後半にはほぼ平年並みになる見込み。 降水量と日照時間はほぼ平年並みの見込み。 (新潟地方気象台 7月3日発表)	535,640	▲ 10,030	▲ 1.8	594,400	103
富 山	同上（新潟地方気象台 7月3日発表）	192,340	▲ 3,920	▲ 2.0	198,200	102
石 川	同上（新潟地方気象台 7月3日発表）	126,400	▲ 3,000	▲ 2.3	130,500	101
福 井	同上（新潟地方気象台 7月3日発表）	128,130	▲ 5,230	▲ 3.9	134,700	102
長 野	・関東甲信地方の7月5日～8月4日の1か月間は、気温は平年並みか高い見込み。期間の前半に平年より高くなり、後半にはほぼ平年並みになる見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。 (気象庁 7月3日発表)	196,640	▲ 7,760	▲ 3.8	213,000	101

	気象関連公表資料（気象台等公表資料の抜粋）	t	%	t		
滋賀	・近畿地方の7月5日～8月4日の1か月間は、平均気温は平年並か高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。前半は梅雨前線や湿った気流の影響を受けやすいため平年に比べ曇りや雨の日が多く、後半は太平洋高気圧に覆われて平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （大阪管区気象台 7月3日発表）	163,380	▲ 7,000	▲ 4.1	169,300	102
兵庫	同上（大阪管区気象台 7月3日発表）					
岡山	・中国地方の7月5日～8月4日の1か月間は、期間の前半は雷から暖かい空気が流れ込むため、1か月の平均気温は平年並か高くなり、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。期間の前半は前線や気圧の谷の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （広島地方気象台 7月3日発表）	181,930	▲ 6,010	▲ 3.2	189,800	100
広島	同上（広島地方気象台 7月3日発表）	160,190	▲ 5,850	▲ 3.5	163,800	97
山口	・九州北部地方（山口県含む）の7月5日～8月4日の1か月は、平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込み。期間の前半は、前線や気圧の谷の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （福岡管区気象台 7月3日発表）	130,130	▲ 4,270	▲ 3.2	132,600	99
愛媛	・四国地方7月5日～8月4日の1か月間は、平均気温は平年並みか高く、降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。期間の前半は前線や湿った気流の影響が大きく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。 （高松地方気象台 7月3日発表）	110,820	▲ 5,530	▲ 4.8	111,000	97
高知	同上（高松地方気象台 7月3日発表）	74,490	▲ 1,690	▲ 2.2	74,900	99
福岡	・九州北部地方（山口県含む）の7月5日～8月4日の1か月は、平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込み。期間の前半は、前線や気圧の谷の影響で、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込み。後半は、太平洋高気圧に覆われ、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （福岡管区気象台 7月3日発表）	50,050	▲ 1,700	▲ 3.3	57,900	98
熊本	同上（福岡管区気象台 7月3日発表）	184,380	▲ 6,860	▲ 3.6	182,500	96
宮崎	・九州南部地方の7月5日～8月4日の1か月は、平均気温はほぼ平年並み、降水量は平年並みか多く、日照時間は平年並みか少ない見込み。九州南部では期間の前半は、平年に比べ曇りや雨の日が多く、後半は、平年と同様に晴れの日が多い見込み。 （鹿児島地方気象台 7月3日発表）	189,920	▲ 7,790	▲ 3.9	188,300	97
鹿児島	同上（鹿児島地方気象台 7月3日発表）	94,470	▲ 4,660	▲ 4.7	92,600	100
		111,540	▲ 3,980	▲ 3.4	112,500	101

参考資料:

[平成26年産米の都道府県別の生産数量目標について\(農林水産省\)](#)

[平成25年産水陸稲の収穫量\(農林水産省\)](#)

[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道 7月4日\)](#)、[農作物生育状況 7月1日現在\(北海道空知総合振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道石狩振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道後志総合振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道胆振総合振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道日高振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道渡島総合振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道檜山振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育状況 7月1日現在\(北海道十川総合振興局 7月4日\)](#)、[農作物生育状況調査の概要 7月1日現在\(北海道留萌振興局 7月4日\)](#)、[農作物の生育と農作業の進捗状況 7月1日現在\(北海道オホーツク総合振興局 7月4日\)](#)、[病害虫発生予察情報第8号7月予報・第9号\(北海道病害虫防除所\)](#)、[作況調査報告6月30日現在\(青森県産業技術センター農林総合研究所 7月2日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第4号7月予報\(青森県病害虫防除所\)](#)、[農作物技術情報第4号水稲\(岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部、中央農業改良普及センター 県域普及グループ 6月26日\)](#)、[平成26年度水稲生育定期調査結果No.3\(6月25日\)\(岩手県農業研究センター技術部作物研究所・東北農業研究所作物研究室 6月27日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察情報第4号\(岩手県病害虫防除所\)](#)、[平成26年度病害虫防除速報No.4 水稲編-2\(岩手県病害虫防除所\)](#)、[平成26年産水稲の生育状況について 7月1日現在\(宮城県農林水産部 7月2日\)](#)、[平成26年度産稲作技術情報\(第4号\)\(宮城県大河原農業改良普及センター 7月4日\)](#)、[平成26年度産稲作情報\(第4号\)\(宮城県亘理農業改良普及センター 7月7日\)](#)、[仙台稲作情報第7号\(宮城県仙台農業改良普及センター 7月2日\)](#)、[平成26年産産稲作技術情報第6号\(宮城県大崎農業改良普及センター 7月1日\)](#)、[平成26年産美里地区の稲作情報第5号\(宮城県美里農業改良普及センター 7月2日\)](#)、[栗原の稲作通信平成26年第4号\(宮城県栗原農業改良普及センター宮城県米づくり推進栗原地方本部 7月4日\)](#)、[登米地域の稲作通信第5号\(宮城県登米農業改良普及センター 7月2日\)](#)、[稲作情報Vol. 4\(石巻農業改良普及センター 7月3日\)](#)、[稲作情報Vol. 3\(本吉農業改良普及センター 6月23日\)](#)、[平成26年度発生予察情報発生予報第5号\(概要版\)\(宮城県病害虫防除所\)](#)、[平成26年度発生予察情報発生予報情報注意報第1号\(宮城県病害虫防除所 7月4日\)](#)、[生育状況の情報\(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」http://www.e-komachi.jp/ 7月4日\)](#)、[平成26年度農作物病害虫発生予察情報発生予報第2号\(6月予報\)\(秋田県病害虫防除所\)](#)、[米づくり技術情報No4\(山形の米日本一推進運動本部 6月30日\)](#)、[つや姫だより第5号\(庄内総合支庁 7月3日\)](#)、[稲作だより第6号濃肥編\(村山総合支庁 7月1日\)](#)、[つや姫だより第6号\(山形県村山総合支庁 7月1日\)](#)、[おきたま米づくり情報No.8\(山形の米日本一推進運動置賜地域本部 7月4日\)](#)、[おきたま「つや姫だより」\(山形の米日本一推進運動置賜地域本部 7月4日\)](#)、[稲作だより第9号穂肥編\(最上総合支庁 7月7日\)](#)、[つや姫情報第4号\(最上総合支庁 7月7日\)](#)、[おいしい米づくり情報第8号\(庄内総合支庁 7月2日\)](#)、[直播稲作情報第4号\(庄内総合支庁 7月3日\)](#)、[酒田・飽海つや姫情報第5号\(庄内総合支庁 6月24日\)](#)、[平成26年度農作物有害動物発生予察情報発生予報第3号\(6月\)\(山形県病害虫防除所\)](#)、[平成26年度農作物有害動物発生予察情報注意報第1号\(山形県病害虫防除所 7月2日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察情報発生予報第2号\(5月\)\(福島県病害虫防除所\)](#)、[主要な農作物の生育状況平成26年度第3号\(福島県農林水産部 6月9日\)](#)、[水稲の病害虫防除対策\(6月\)\(福島県病害虫防除所\)](#)、[農研速報\(水稲の生育状況\)\(6月20日現在、水戸市\)\(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月20日\)](#)、[農研速報\(水稲の生育状況\)\(6月18日現在、龍ヶ崎市\)\(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月19日\)](#)、[病害虫速報No.3\(茨城県病害虫防除所\)](#)、[病害虫発生予報7月号\(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会\)](#)、[那珂川濁水対策支部の解散について\(国土交通省関東地方整備局\)](#)、[平成26年度水稲生育診断予測事業速報No. 2\(早期栽培6月9日調査結果\)\(栃木県農政部 6月11日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第3号\(栃木県農業環境指導センター\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察注意報第1号\(栃木県農業環境指導センター\)](#)、[平成26年度水稲の生育概況Vol.1\(平成26年6月1日現在\)\(埼玉県農林総合研究センター水田農業研究所 6月9日\)](#)、[病害虫調査データ\(埼玉県病害虫防除所 6月19日\)](#)、[病害虫防除情報\(埼玉県病害虫防除所 6月11日\)](#)、[水稲の生育状況と当面の対策第4報\(千葉県農林水産部 7月2日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第3号\(千葉県農林総合研究センター\)](#)、[水稲の生育状況と今後の管理対策第4号\(新潟県農林水産部 7月2日\)](#)、[6/30稲作生育速報\(十日町地域\)\(十日町農業普及指導センター他\)](#)、[岩船米生育速報\(6月30日現在\)\(村上農業普及指導センター\)](#)、[新発田地域水稲生育速報No.4\(6月30日調査\)\(新発田農業普及指導センター 6月30日\)](#)、[新潟稲作速報No.4\(新潟農業普及指導センター 6月30日\)](#)、[水稲生育速報No.4\(新潟農業普及指導センター 7月1日\)](#)、[水稲生育速報No.4\(巻農業普及指導センター 7月1日\)](#)、[FAX稲作速報\(三条農業普及指導センター 6月30日\)](#)、[水稲生育速報\(6月30日現在\)\(長岡農業普及指導センター\)](#)、[稲作情報\(JA北魚沼・魚沼農業普及指導センター 7月2日\)](#)、[稲作情報No.5水稲生育速報\(6月30日現在\)\(南魚沼農業普及指導センター 6月30日\)](#)、[稲作管理情報4\(柏崎農業普及指導センター 7月1日\)](#)、[水稲生育速報・コシヒカリ\(上越農業普及指導センター 6月30日\)](#)、[水稲生育情報\(糸魚川農業普及指導センター 6月20日\)](#)、[平成26年度 稲作生育速報 No4\(佐渡農業普及指導センター 7月1日\)](#)、[平成26年度新潟県病害虫発生予察情報・予報第3号\(6月の発生予想\)\(新潟県病害虫防除所\)](#)、[TACS情報第6号\(富山県農業技術課広域普及指導センター 7月1日\)](#)、[直播情報第4号\(富山県農業技術課広域普及指導センター 6月28日\)](#)、[平成26年産水稲の生育状況と今後の対策\(水稲生育診断技術確立調査-6号\)\(石川県農林総合研究センター 6月30日\)](#)、[病害虫発生予報第2号\(石川県\)](#)、[稲作情報No.9\(稲作情報作成委員会・水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 7月4日\)](#)、[平成26年農作物病害虫発生予察予報第4号\(福井県農業試験場\)](#)、[平成26年度作物技術普及情報第13号\(長野県松本農業改良普及センター 7月4日\)](#)、[5月下旬の水稲巡回調査結果の概要について\(長野県病害虫防除所 6月2日\)](#)、[平成26年度水稲生育診断情報No.2\(滋賀県農業技術振興センター 6月26日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第5号\(滋賀県病害虫防除所\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察予報第2号\(兵庫県病害虫防除所\)](#)、[平成26年度兵庫県農業気象技術情報第3号\(7月情報\)について\(兵庫県農政環境部 7月3日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第3号\(岡山県\)](#)、[稲作ワンポイントアドバイス\(No4\)\(J A 長門大津・長門農林事務所 7月1日\)](#)、[農作物病害虫発生予報6月\(山口県病害虫防除所\)](#)、[気象情報に基づく技術対策・作物\(平成26年7月\)\(愛媛県 7月4日\)](#)、[病害虫発生予報\(6月\)\(愛媛県\)](#)、[平成26年度の水稲生育状況\(6/6時点\)\(高知県農業技術センター 6月20日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察5月月報\(高知県病害虫防除所 6月3日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予察予報第3号\(6月\)\(高知県病害虫防除所\)](#)、[ネットラップ及び予察灯における海外飛来性害虫の誘殺状況\(5月23日\)\(福岡県病害虫防除所\)](#)、[普及指導センター情報\(福岡県朝倉普及指導センター\)](#)、[管内JAニュース\(JAグループ熊本ホームページhttp://www.ja-kumamoto.or.jp\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第3号\(6月予報\)\(熊本県病害虫防除所\)](#)、[平成26年産宮崎県早期米産地情報\(平成26年6月15日現在\)\(宮崎経済連ホームページhttp://www.mivazaki-cha.jp/kome/index.html 7月4日\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第2号\(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター\)](#)、[平成26年度病害虫発生予報第3号\(6月\)\(鹿児島県病害虫防除所\)](#)

エルニーニョ監視速報(No.261)(気象庁 地球環境・海洋部)

[北海道地方こう1か月の天候の見通し\(札幌管区気象台\)](#)、[東北地方こう1か月の天候の見通し\(仙台管区気象台\)](#)、[関東甲信地方こう1か月の天候の見通し\(気象庁\)](#)、[北陸地方こう1か月の天候の見通し\(新潟地方気象台\)](#)、[近畿地方こう1か月の天候の見通し\(大阪管区気象台\)](#)、[中国地方こう1か月の天候の見通し\(広島地方気象台\)](#)、[四国地方こう1か月の天候の見通し\(高松地方気象台\)](#)、[九州北部地方こう1か月の天候の見通し\(福岡管区気象台\)](#)、[九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し\(鹿児島地方気象台\)](#)